

福島第一原子力発電所 第二セシウム吸着装置（サリー）停止について

< 参考資料 >
平成25年7月31日
東京電力株式会社

■ 発生状況

7月30日午後9時53分頃、処理運転中の第二セシウム吸着装置（サリー）において「ブースターポンプ停止／漏えい検知」警報が発生し、自動停止した。その後、現場を確認し、漏えい等の異常のないことを確認した。

■ 推定原因

圧力計のトレンドデータを解析した結果、吸着塔の圧力を監視しているPIT（圧力指示伝送器）-600Bの指示不良によるものと推定。

■ 対応状況

- ろ過水を通水し、サリーのB系のPIT指示値の状態を確認（参考として、A系のPIT指示値を併せて確認）
- 指示不良と思われるPIT-600Bの交換実施（8月1日予定）
- なお、A系の圧力指示値には問題がないと考えられるため、現状でもA系の運転（約20m³/h程度）は可能だが、建屋水位に問題はないため、8月1日にPIT-600B交換後、A系およびB系で運転を再開する予定。

